

夢をカタチに

姫路商工会議所が創業を支援した創業者の方に
お話を聴きました。

発達応援室 みえる

代表者 橋本 美恵

創業時期 2021年1月

所在地

〒672-8049 姫路市佃町9
グリーンパークビル103

MAIL

ryoiku2020@gmail.com

HP

<https://www.ryoiku-mieru.com/>



の仕事 お手伝い「社会性とつながる買い物」「マラソン・山登りで身体づくり」を行っています。課題学習で使用する教材は師匠の河島淳子先生の考案・制作したものを、その子にあった課題を考えるなど、子ども一人ひとりと丁寧に向き合い、「工夫」と「配慮」のある子育てと教育を行うことを心がけています。

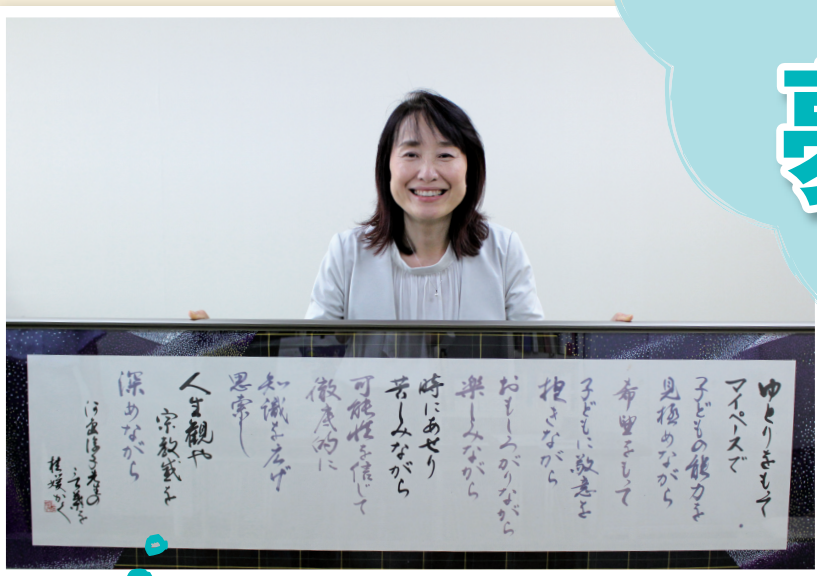
当応援室の目指す自立は、なんでも自分でできることではありません。困ったときに助けを求められること、人とのつながりをつくれることが、子どもにとっての自立だと考えます。

相談してよかった

チラシを目にしたことをきっかけに創業塾へ参加しました。業種や年齢、経験は違っても同じ目標を持った方々と交流し、創業の志が明確になりました。また、商工会議所の職員の方には助成金の申請の際に丁寧に指導いただきました。

これからの目標

30年以上福祉現場で培ってきたノウハウを支援者の方々に伝えていきたいです。今年6月からは、全5回シリーズの支援者養成セミナーも始めました。支援者が発達障害への理解を深めることが、その支援者の所属する園・学校・事業所の理解を深めることにつながると考えています。



ゆとりをもって
マイペースで
子どもの能力を
見極めながら
希望をもって
子どもに敬意を
抱きながら
おもしろがりながら
時にあせり
苦しみながら
可能性を信じて
徹底的に
知識を広げ
思索し
人生観や宗教感を
深めながら

河島淳子先生の言葉

創業に至るまで

姫路市総合福祉通園センター「ルネス花北」で約15年間、個別と集団の療育を担当しました。その後、ひょうご発達障害者支援センター「クローバー」で約16年間、相談と療育や発達障害の啓発活動に携わりました。勤務する中で、幼児期から子どもの自立を目指す療育を行いたいという想いが強くなり、創業を決意しました。

「みえる」には見える、観える、診えるなど様々な意味がありますが、その子本来の姿を、子どもや保護者、支援者、そして私自身がしっかりとみえるようにという想いを込めました。

創業してよかった

立地など具体的なことは退職してから考え始めたこともあり、創業するまではとても不安でしたが、教室で子どもと「できた!」「わかった!」と喜びを分かち合え、子どもたちと保護者の歩みを共に味わうことができたときにはとてもやりがいを感じます。

発達応援室みえるの魅力

当応援室での療育は自立を目指し、子どもが心豊かに育つことを目指して、「生きる力をつける課題学習」「家

